

取組状況・成果

【(仮称)「漱石山房」記念館の整備】

・夏目漱石のご親族をはじめ、学識経験者、有識者、地域住民や漱石愛好団体等の参画により、平成25年3月に整備基本計画を策定、同年7月には、夏目漱石記念施設整備基金による寄付金の募集を行い、平成28年3月から工事に着手しています。

【文化の創造と発信】

・文化体験プログラムを平成16年から実施し、本格的な文化芸術体験を気軽に体験できる機会を提供しています。また、乳幼児文化体験事業を平成22年から実施し、乳幼児期から良質な文化芸術を体験できる機会を提供しています。毎年子どもの日に(公社)日本芸能実演家団体協議会と共催で「芸術体験ひろば」を実施し、気軽に文化芸術体験ができる場を提供しています。実施に際しては、文化芸術団体と連携して、優れた技量や高い指導力の講師を確保し、質の高いプログラムを提供しています。

・新宿に住む人、訪れる人、働く人、学ぶ人の交流を深めるため、地域団体等と連携して毎年10月に「大新宿区まつり」を開催し、新しい文化や情報を発信しています。

・地元商店街振興組合、民間企業等とともに、新宿駅周辺の公共の空間・民間施設等を活用したアートイベント「新宿クリエイターズ・フェスタ」を平成23年から毎年開催しています。その一貫として、歌舞伎町のまちをアート作品の発表の場として活用し、様々なアートでまちを明るく楽しく演出する取組「歌舞伎町アートプロジェクト」を開催することで、新宿の新たな魅力づくり、イメージアップを図り、新たな賑わいと活力づくりに取り組んでいます。

・音楽ホール、劇場、美術館、ギャラリー、博物館等の文化資源に恵まれた新宿では、年間を通して様々なイベントが開かれています。毎年10月1日～11月30日の2か月間を「新宿フィールドミュージアム文化月間」として、これらのイベントを集約、集中的に発信することにより、区内における文化芸術活動を更に活性化し、新宿の魅力を高めています。

・新宿の文化歴史資源をまちづくりに積極的に活かすため、林芙美子記念館、佐伯祐三アトリエ記念館、中村彝アトリエ記念館を整備し、運営しています。このことにより、区民の地域に対する愛着や誇りを育み伝えるとともに、新宿の文化歴史資源を広く発信しています。

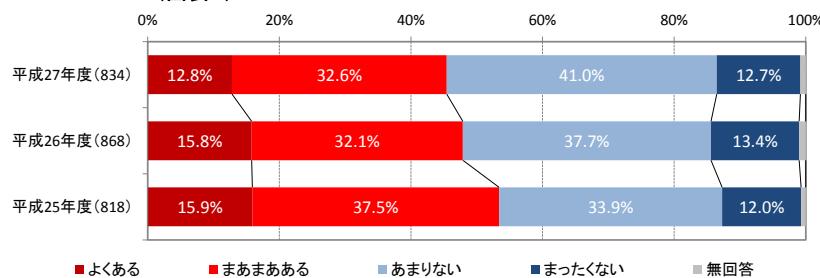
【観光バスの駐車対策】

・免税店の運営会社や免税店へ、観光バスの駐車による歌舞伎町の周辺道路の渋滞や交通障害の解消に向けた協力を要請しました。また、対策会議を警察署と合同で開催しました。

【新宿の魅力の発信】

・新宿の多様な魅力を総合的・戦略的に発信し、地域団体や企業の枠組みを超えて「ALL新宿」で取組んでいくため、平成26年4月に法人格を持つ「一般社団法人新宿観光振興協会」を設立し、観光情報の収集・提供、観光施策の企画・実施など多様な主体の協力、連携により、様々な事業を展開しています。

【図表1】文化・芸術に触れる機会の有無の推移



・「よくある」と「まあまあある」を合わせた「ある」(45.4%)が4割台半ばとなっています。過去3年間の変化では、「ある」が年々低下しており、文化・芸術に触れる機会が減っています。

現状・課題

【(仮称)「漱石山房」記念館の整備】

・平成29年9月の開館に向けて、整備事業を着実に進める必要があります。

・ゆかりの地の自治体を始め全国の漱石愛好団体との交流をこれまで以上に重ね、関係を強化することが必要です。

【文化の創造と発信】

・区民が文化芸術に触れる機会を上げるとともに、活動者として、また、愛好家や支援者として、文化芸術に関わっていく仕組み作りが必要です。

・新宿のまちの魅力として、新宿の歴史文化資源、文化芸術資源等を活用し、区民が地域に愛着や誇りを持つとともに、国内外からの来街者の更なる増加を図る取組みが求められています。

・新宿では、主に民の力により、新宿ならではの文化が育まれてきました。区内で活動する様々な文化芸術団体やアーティストの活動を、更に活発なものにしていく必要があります。

・新宿のまちが持つ文化芸術的な魅力を創造・発信するため、文化団体等の自主的な活動を引き出すとともに参加団体間の連携をより深めて、ネットワークづくりを促進することが求められています。

・新宿クリエイターズ・フェスタの更なる認知度の向上を図るとともに、区内で開催される他の文化芸術イベントとの連携を強化する必要があります。

【観光バスの駐車対策】

・大型バスの駐車場不足により、観光バスが歌舞伎町周辺の公道上で乗降・待機しているため、歩行者の安全や交通に支障が出る等の社会的問題になっており、駐車場整備が急務となっています。

【新宿の魅力の発信】

・一般社団法人新宿観光振興協会を中心に、区内各エリアの魅力を創出し、回遊性を高めることが必要です。

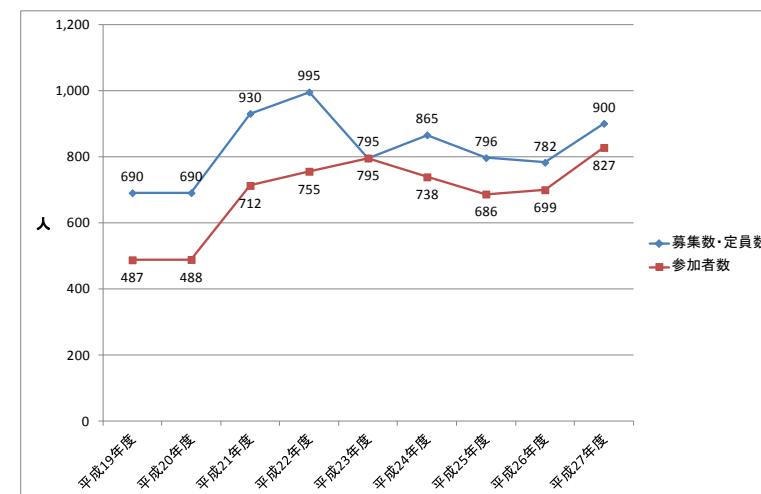
・外国人観光客の受入れ環境の整備が求められています。

・新宿の魅力の創造・発信を効果的に行うため、地域団体、企業等と連携し、そのスキル、ノウハウ、ネットワーク等を十分に活用することが必要です。

・来街者が新宿のまちに満足し、繰り返し訪れていただくためには、区民一人一人が、新宿のまちの魅力を知り、誇りと愛着を持ち、おもてなしの気持ちで来街者を迎えることが必要です。



【図表2】文化体験プログラム募集数及び参加者数の推移



目指すまちの姿・状態

- ・新宿が持つ歴史や土地の記憶、文化、芸術などの多彩な魅力を発掘・創造・発信し続けることにより、区民のまちへの愛着と誇りを醸成します。
- ・官民一体による観光振興や産業振興などの施策を総合的に推進し、国際観光都市としての魅力とブランド力をさらに高め、「賑わい都市・新宿」の実現をめざします。

施策の方向性

【(仮称)「漱石山房」記念館の整備】

- ・「まちの記憶」を受け継ぎ、貴重な文化・歴史資源を掘り起こし、継承・発展・発信することにより、区民のまちへの愛着と誇りを育み、多くの人がかえりかえし訪れたいまちを実現します。
- ・地域の歴史や文化の継承・発展の拠点として、区民をはじめ来街者や文学・歴史ファン等の様々な人々が集い、交流する機会を提供します。

【文化の創造と発信】

- ・新宿の多彩な魅力を発掘・創造・発信し続けることにより、新宿の魅力やブランド力をさらに高め、区民が誇れる、来街者が繰り返し訪れたい「国際観光都市・新宿」を創造します。
- ・区民が自分のまちの魅力を再発見できるよう、変化するまちの歴史や地理的特徴、日常の生活に根差した地域ごとの特色・文化的資源を発信していきます。
- ・文化芸術が区民の日常の生活に溶け込み、豊かさや潤いをもたらされ、新しい文化芸術の担い手が育成されるまちづくりをすすめます。
- ・公共の場をアート作品の発表の場として活用し、新宿のまちの新たな魅力づくりを進めます。

【新宿の魅力の発信】

- ・一般社団法人新宿観光振興協会を中心に、新宿の多彩な魅力を発掘・創造し、観光資源として発信していきます。
- ・地域団体、企業等と連携し、そのスキル、ノウハウ、ネットワーク等を十分に活用して、新宿の魅力の創造・発信を効果的に行っていきます。
- ・観光施策に先進的に取り組んでいる国や、東京都などの関連機関と連携して、新宿の魅力の創造・発信を更に強かに推進します。

((仮称)「漱石山房」記念館 完成予想パース)



(新宿クリエイターズ・フェスタ パンフレット)



(新宿クリエイターズ・フェスタ2016 開催の様子)



椿昇「RPFW “Rapid Prototyping For Weapons”」 © Noboru Tsubaki



エマニュエル・ムホー「100 colors no.13」歌舞伎町シネシティ広場